



ハトダヨ
2018年
3月号

函館市中央図書館

編集・発行 函館市中央図書館 指定管理者 TRC 函館グループ

〒040-0001 北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号

TEL (0138) 35-5500 FAX (0138) 35-5525



市中央図書館だより

第23号 平成30年3月1日 発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

※平成30年2月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています

1	マスカレード・ナイト	東野 圭吾／著	11	盤上の向日葵	袖月 裕子／著
2	この世の春 上	宮部 みゆき／著	12	おらおらでひとりいぐも	若竹 千佐子／著
3	この世の春 下	宮部 みゆき／著	13	院長選挙	久坂部 羊／著
4	AX	伊坂 幸太郎／著	14	蜜蜂と遠雷	恩田 陸／著
5	九十歳。何がめでたい	佐藤 愛子／著	15	恨み残さじ	佐伯 泰英／著
6	砂上	桜木 紫乃／著	16	屍人荘の殺人	今村 昌弘／著
7	キラキラ共和国	小川 糸／著	17	わたしを離さないで (文庫)	カズオ・イシグロ／著
8	ノーマンズランド	誉田 哲也／著	18	女の子が生きていくときに、 覚えていてほしいこと	西原 理恵子／著
9	ホワイトラビット	伊坂 幸太郎／著	19	わたしを離さないで	カズオ・イシグロ／著
10	おもかげ	浅田 次郎／著	20	騙し絵の牙	塩田 武士／著

展示紹介

開架展示コーナー(ゲート正面)

『北海道のはじまり』

3月4日(日)~3月30日(金)

2018年8月、「北海道」は命名から150年を迎えます。北海道の様々な魅力を再発見しませんか?

カート展示コーナー(ゲート正面)

『働く人の味方!!
頼りになるビジネス本特集』

2月24日(土)~4月26日(木)

図書館にはビジネス書もたくさんあります!

特別展示コーナー(棚:雑誌E裏)

『春を見つけに出掛けてみよう』

2月24日(土)~5月22日(火)

お弁当作り、春の洋服、バッグなど春に役立つような本を揃えました。

ミニ展示コーナー(児童カウンター横)

『1/1ラクゼーション』

2月24日(土)~3月30日(金)

不安定な気候でお疲れな心と体に1冊いかがですか?

ラック展示コーナー(カウンター前)

『高倉健』

2月10日(土)~3月30日(金)

函館美術館とのコラボレーション企画。貸出できない本もありますが、ぜひご覧ください。

YA ミニ展示コーナー(棚:B1)

『響け心に~詩・短歌・俳句~』

1月4日(木)~3月30日(金)

詩・短歌・俳句の世界を楽しみませんか?

ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

タイトル:「いつでも会える」

棚: J3~J6
請求記号: E 勃

著者: 菊田 まりこ 出版社: 学研 (1998年12月)

20年ほど前に話題になった大人が泣ける絵本、みきちゃんと犬のシロのおはなしです。ご存知の方も多いのではないのでしょうか。私も予想外の展開に涙した大人のひとりです。

シンプルな絵と短い文。それがかなしみと温もり、優しさをストレートに伝えます。当たり前を過ごす毎日にどれほどの幸せが詰まっているか気づかせてくれる、ふとした時に読み返したくなる一冊です。

タイトル:「読む時間」

棚: A35~A36
請求記号: 748 ㌷

アンドレ・ケルテス/撮影 渡辺 滋人/訳 出版社: 創元社 (2013年11月)

1915年から1970年まで、世界中いろいろな場所で「読む」人々の姿を撮影した、著者の代表的な作品集の一つ。本を読む、という個人的な時間。それはただ楽しくて夢中な。ときには願いながら、ときには眉をひそめながら、かもしれません。丸めた背中や足の組み方……読みふける人それぞれのしぐさがあります。写真に想像力をかきたてられ、その時代、その場所に居る感覚になり、文字とはまた違った読み応えです。

巻頭の谷川俊太郎さんによる「読むこと」という詩もすてきです。

本や新聞が紙で残ることの意味を感じます。

タイトル:「豆乳おいしいレシピ」

棚: J14
請求記号: 596.3 ㌷

千葉 真知子/著 出版社: 東洋経済新報社 (2005年7月)

豆乳1カップ、にがりスプーン1杯、電子レンジで1分チン！
一体何ができるでしょうか…?! 答えは「お豆腐」です。では同じ材料を、コトコト煮ると、次は何ができるでしょうか…?! それは「湯葉」です。表面にできた、薄い膜をおはしで引き上げると、気分はすっかり湯葉料理屋さん。一連の作業は、理科の実験・自由研究にも似て、子どもも楽しめるとか。

お料理の得意な方にも、そうではない方にもおすすめできる健康レシピ本です。

館長随想 (二十三)



今年の雪の多さには閉口されていることでしょう。連日の雪かきで筋肉痛という声が挨拶がわりになっていきます。

図書館では除排雪に立てた予算額は既にオーバーし、なんとかやり繰りをして今年度をしのぐよう思っています。駐車場では重機による除雪は行っていますが、毎日雪かき当番に当たっている職員は早く出勤し、入口の回り、通路、歩道など細かな所の除雪を手作業で行っています。今年は一降降り続ける日もあり、日に何度も出ていって、図書館の正面口や駐車場口をかく時もあります。開館中の雪かきや、交通機関が止まった時は、影響を受ける一部の職員を早く帰らせていますので、窓口の職員も少ない時間帯があります。そのような時は、来館される方も少なく、あまりご迷惑をおかけすることはないと思います。また、移動図書館車「ともしび号」も、除雪が間に合わないステーションに運行できない日がありました。「ともしび号」は大型車で、雪にはまると大変です。ステーションの状況によって運行出来ない場合は申し訳ありません。

ニュースで見ると、函館の雪は札幌より多く、旭川に迫る量です。札幌や旭川は例年より雪が少ないということですが、それでも函館が旭川に近い量というのは驚きです。例年さほど雪が多くはない函館では、除雪体制や町の造りが、旭川、札幌に比べ大量の雪に対応していかないのは仕方のないことです。早く雪解けの季節となつてほしいと念じています。



舗道で遊ぶ子供たち (ph005374)
60年前(1958年)の3月の写真です。
今年雪が多く大変でしたがあともう少しで春がやってきます。

デジタル資料館

紹介



コーヒーブレイクしませんか？

本を読もうと思っても何だか頭に入らない…イライラしてのんびり本なんて読んでられない…
誰にでもそんな時はありますよね。そんな時はコーヒーブレイク！魅惑の香りに包まれてぼーっと
してみませんか？日本茶・紅茶はまたの機会に(笑) さて、元気が出たらコーヒーの本でもいかが？

そもそもコーヒー豆って？

コーヒーノキの実の種子がコーヒー豆…簡単に言うとそうなります。でも樹の種類や実のなり方など、
詳しく知りたくなったら、「珈琲の大事典」成美堂出版編集部／編「コーヒーの事典」田口 護／監修
「田口護の珈琲大全」田口 護／著 「コーヒーの基本」などおすすめ。



美味しく淹れるにはどうすれば？



ペーパードリップで「の」の字を書くように細くお湯を注ぐ…これくらいは何となくわかってるけど
もっと美味しくプロ並みにコーヒーを淹れたい！となると、本の力を借りましょう。

「もっと美味しいコーヒーが飲める4ステップ」 田中 昭彦／著

「おうちでも楽しめるカフェの美味しいコーヒーの淹れ方」 成美堂出版編集部／編

「男のこだわり珈琲」 横山 千尋／監修

「知れば知るほどおいしく飲めるコーヒー事典」 藤田 政雄／監修

「おいしい珈琲の事典」 成美堂出版編集部／編

…などどうでしょう。

コーヒーブルース 小路 幸也／著

珈琲店タレーランの事件簿 岡崎 琢磨／著

珈琲屋の人々 池永 陽／著

豆大福と珈琲 片岡 義男／著

コーヒーが冷めないうちに 川口 俊和／著

コーヒーもう一杯 平安寿子／著

などなど、タイトルにコーヒー(珈琲)がついた

小説はたくさんあります。美味しいコーヒーを飲みながらこんな本を読んでも、ますます

コーヒーブレイクにはまっちゃいそうですね！

